

令和3年度（第3回）社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和3年8月31日（火） 9時55分～11時45分
 - 2 開催場所 市役所新館10階 大会議室
 - 3 出席委員 川尻委員、佐伯委員、熊谷委員、田上委員、後藤委員、高瀬委員、山本委員、徳田委員、鹿多委員、岡本委員、山尾委員（11名）
 - 4 欠席委員 西村委員、田中委員、和田委員
 - 5 出席職員 小南教育長、神吉教育指導部長、杉本教育指導部次長、桐山教育指導部参事、長谷川少年自然の家所長、中塚中央図書館副館長、高橋加古川公民館長、今津青少年育成課長、社会教育課（岡本副課長、川向地域家庭教育係長、三軒主査、藤本主事）
 - 6 傍聴者 0名
 - 7 議事要旨
- 開会 9時55分
委員長あいさつ、教育長あいさつ

（協議事項）

コロナ禍における社会教育について
（社会教育課より説明）

委員

青少年女性センターを個人で使用する場合、使用料はどのようになるのか。以前、青少年団体連絡協議会の会議で青少年女性センターの使用許可申請をした際、団体の会議であれば減免対象外であり、市民のための活動に関する会議であれば減免対象と、団体の使用においても目的により使用料が異なるとのことであった。

青少年育成課長

公共的な活動のための会議であれば減免対象になる。個人的に練習等で使用する場合は、通常の料金（減免対象外）となる。個人であっても、公共的な活動に関連する目的で使用する場合は、減免対象になる。

委員

青少年団体連絡協議会の会議であっても、減免対象外なのか。

青少年育成課長

若い夢フェスティバル等の市民を対象としたイベントのための会議等であれば、減免対象になる。使用許可申請の際には、担当者より使用目的を聞き取り、減免対象になるか否かを判断させてもらっている。

委員

公民館により、高齢者大学や高齢者大学OB会の実施状況が異なるのはなぜなのか。

加古川公民館長

登録団体や一般団体への対応については、館による違いはない。ただし、高齢者大学の活動については、運営委員会で決定しており、コロナ禍における活動についても

館によって違いがある。また、高齢者大学 OB 会は、任意団体であり、参加者が活動内容等を決定しているため、高齢者大学同様、館によって違いがある。

委員

動画配信による講座を実施する場合、事前準備や環境整備の方法等について、市からアドバイスをもらう機会はあるのか。

社会教育課副課長

動画配信で必要な内容に関する講座等を実施する必要があると考えている。

委員

公民館利用者の多くは高齢者であり、動画配信等に疎い方も多いので、サポートをしてもらえるとありがたく思う。

委員

動画配信等に馴染みのない方にとっては、利用するきっかけづくりが大切であると思う。使用料の減免については、周知方法を検討することが必要であると思う。

委員

アンケート結果を見ると、70代以上の回答が大半を占めていた。若い年代の回答が加わることで、アンケート結果も大きく変わると思う。オンライン講座については、大学の授業等では主流になってきているが、それが必ずしも良いとは思われていないのも現状である。オンラインでできることもあれば、対面で行うべき社会教育もあるのではないかと感じている。アンケート結果の中で、「テレワークのために施設の個人利用をしたい」との意見があったが、社会教育委員としてではなく、市としてサポートができるのではないかと感じた。小学生の子どもが、夏休みにパソコンを持ち帰り、宿題をしている。その中で、漢字の書き順を間違えると、エラー音が鳴る機能は、オンライン学習のメリットであると思う。また、クラスルーム機能を通じて、夏休みでもクラスの子や担任と交流ができるのは、今までの学習にない良い点だと感じた。すべてオンラインで実施するのは難しいかもしれないが、メリットを活かした活動ができれば良いと思う。

委員

オンライン学習については、全児童に配信できる環境が整っていないのが現状である。対面とオンラインでの学習を両立させることが、今後重要になってくると考える。アンケート結果からは、コロナ禍であっても、機会があれば活用したい等、前向きな意見が多いが、新型コロナウイルス感染症に対する不安が邪魔をしている気がする。対策として、会話を控えるという意見もあるが、公民館はコミュニティの場でもあるため、難しいと思う。

委員

高齢者は、グラウンドゴルフ等、屋外での活動を活発に行っている印象がある。公民館では、屋内での活動が主であるが、可能な限り屋外でも実施できれば、活動の幅が広がると思う。

加古川公民館長

高齢者大学のクラブ活動でグラウンドゴルフやポールウォーキングを実施していた

り、美化委員会が花壇整備をしたりと、公民館でも屋外の活動が実施されている。公民館によっては、近くにある公園等を活用しながら、屋外の活動を実施することも可能である。

委員

アンケート結果としては、回答者の年代等に偏りがあり、統計的には問題があると感じた。公民館の活動で YouTube を使った動画配信を行っているが、高齢者の多くは、YouTube を見ることに慣れていない。ただし、子や孫に使い方を学び、見てくれている方もいる。公民館の講座で YouTube の使い方等についても学ぶことができれば良いと思う。若い年代の方にもアンケートを実施することで、よりオンラインの活用についての積極的な意見が得られると思う。社会教育施設を含む市の施設は、Wi-Fi が設置され、オンラインでの講座等を実施できる環境は整いつつあるので、その環境を活かした取組みを実施してもらいたい。

社会教育課副課長

この度のアンケートについては、主に施設利用者を対象に実施したため、回答者の年齢層が高くなっている。今後、公民館のあり方の観点から、施設を利用していない方を対象にアンケートを実施する機会を設ける予定である。また、各公民館で、スマホ講座の実施を検討している。高齢者の方にもスマートフォンを活用してもらい、活動の幅を広げてもらえたらと考えている。

委員

すでに施設を利用している方を対象にアンケートを実施しているため、コロナ禍においての活動に対して積極的な意見が多いが、一方で、コロナ禍での活動に不安を抱いている方も多いのではないかと思う。先日、社会教育推進員を対象に、「コロナ禍だからこそできる社会教育推進員の活動」についての研修会を行った。社会教育推進員も何か活動をしなれないといけないという思いはある。社会教育推進員からも、コロナ禍で実施できる活動として、屋外での活動や奉仕活動等の意見が出たため、活動を計画する側、参加する側のニーズが一致するのではないかと感じた。これまで、町内の文化祭で公民館団体の作品展示等をしていたが、公民館活動が十分に実施できていないため、出品してもらえない。オンラインを活用し、公民館活動を実施できれば良いと思った。

委員

アンケート結果にもあったが、施設で直接知り合いと話すことが楽しみであるという意見はよくわかる。少しでも感染リスクを抑えられるよう、屋外での活動も選択肢の一つとしてもらえるとありがたいと思う。

委員

オンラインの活用について、基本的なことを学ぶことができれば、ハードルが下がり、より多くの方に活用いただけると思う。

委員

コロナ禍における社会教育についてのアンケートとなっているが、新型コロナウイルス感染症の流行が収束した際にどうするのかも大切であると思う。また、コロナ禍

において、若い世代に施設を活用してもらうにはどうすれば良いか、アンケートを実施する必要があると思う。オンラインの活用については、コロナ禍の活動だけでなく、利用者の拡大にもつながると思うため、環境整備を進める必要があると考える。

委員

コロナ禍を経験したことは、社会教育活動の大きな変化の時期になると考える。中には、活動が収束していく団体もあると思う。新たな利用者の拡大について考えていく時なのではないかと感じた。

(報告事項)

(1) 兵庫県社会教育委員協議会総会及び研修会(7/5)の参加報告について

(岡本委員より説明)

(2) 東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会振興大会・第2回研修会(7/10)の参加報告について

(山尾委員より説明)

(3) 加古川図書館の開館について

(中央図書館より説明)

(その他)

なし

○ 閉会 11時45分
副委員長あいさつ